

広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用に係る
市民アイデアの募集結果について

平成 2 8 年 4 月

広 島 市

目 次

1 募集概要	1
2 応募者の概要	2
3 寄せられたアイデアの概要	
(1) 保存に関するもの	3
(2) 活用に関するもの	4
(3) アイデアの要旨等	5
参考：アイデア募集ホームページ掲載内容	24

1 募集概要

(1) 目的

広島市は、平成 25 年 4 月に広島大学旧理学部 1 号館とその敷地を無償取得し、その後、劣化状況調査を実施しました。平成 28 年度には、有識者や関係団体等による懇談会の御意見をお聴きしながら、保存・活用の方針を取りまとめます。

この保存・活用の方針の取りまとめに当たっての参考とするため、市民の皆様からアイデアを募集しました。

(2) 募集内容

知の拠点全体の機能が高まるような保存・活用のアイデア

(3) 募集期間

平成 27 年 12 月 15 日（火）～平成 28 年 1 月 15 日（金）

(4) 募集方法

広島市ホームページの応募フォーム、郵便、ファクシミリ及び窓口への持参

(5) 周知方法

ア 広報紙「ひろしま市民と市政」12 月 15 日号に募集記事を掲載

イ 広島市ホームページに掲載

ウ 市政記者クラブへの情報提供

・中国新聞 12 月 11 日、1 月 15 日に掲載

・毎日新聞 12 月 12 日に掲載

・日刊建設工業新聞 12 月 16 日に掲載

2 応募者の概要

(1) 応募者数 71

区 分	応募者数	うち保存アイデア	うち活用アイデア
保存・活用に関するもの	44	50 件	53 件
保存のみに関するもの	3	4 件	
活用のみに関するもの	24		24 件
合 計	71	54 件	77 件

(2) 性別

男性	47
女性	22
その他(団体)	2
合 計	71

(3) 年齢

20歳未満	1
20歳代	4
30歳代	9
40歳代	7
50歳代	26
60歳代	11
70歳代以上	11
その他(団体)	2
合 計	71

(4) 住所

中区	15
東区	4
南区	7
西区	8
安佐南区	5
安佐北区	4
安芸区	0
佐伯区	8
広島市外	18
その他(団体)	2
合 計	71

(5) 職業

会社員	26
自営業	6
公務員	7
主婦・主夫	5
学生	2
無職	11
その他	14
合 計	71

3 寄せられたアイデアの概要

(1) 保存に関するもの

アイデアの内容		件数
①全部保存		13
②一部保存		15
外壁を保存し、解体部分に新築		4
前側建物を残す		3
一部保存する		3
L字型又はコの字型に残し、解体部分に新築		2
コの字型に残す		1
前側建物を残し、解体部分に新築		1
L字型に残す		1
③象徴保存		6
④保存（部分不特定）		6
⑤全部解体		14
全部解体し、新築（Eの字型、玄関、外壁等の雰囲気を継承）		5
全部解体し、新築		3
全部解体し、新築（外壁タイルを再利用）		2
全部解体し、新築（外壁を一部再利用）		1
全部解体する		1
全部解体し、記録保存※文書、写真、映像又はデジタルデータ等として残す		2
合 計		54

【分類の区分】

- ① 全部保存：できるだけ現状のまま建物を全て保存する。
- ② 一部保存：何らかの形で建物の一部を残し保存する。
- ③ 象徴保存：建物の一部をモニュメントとして残し保存する。
- ④ 保存（部分不特定）：建物を保存する（保存範囲は特定していない）。
- ⑤ 全部解体：現状の建物を全て解体する。

(2) 活用に関するもの

区分	アイデアの内容	件数
① 社会教育関係 (34 件)	博物館	24
	教育学習施設等	5
	展示施設	3
	図書館	2
② 観光・交流・集客関係 (15 件)	交流・賑わいを生み出す施設	8
	宿泊施設	2
	店舗	2
	アトリエ等	1
	観光者用利便施設	1
	体験施設等	1
③ 平和関係 (8 件)	平和・原爆・戦争体験に関する施設	6
	モニュメント	2
④ 学校教育関係 (7 件)	大学施設	7
⑤ コミュニティ関係 (4 件)	コミュニティ活動に関する施設	3
	温浴施設※周辺施設 (老人ホーム、スポーツクラブ、病院) の共同施設として	1
⑥ 空地 (2 件)	広場・オープンスペース	2
⑦ 産業振興関係 (2 件)	農水産業等の振興に関する施設	2
⑧ 外交関係 (1 件)	領事館	1
⑨ 福祉関係 (1 件)	福祉施設等	1
⑩ その他 (3 件)	民間に活用を委ねる	2
	駅舎	1
合 計		77

※ 平和、原爆等に関する博物館、展示施設については、「③ 平和関係 平和・原爆・戦争体験に関する施設」で集計しています。

※ いくつかの機能を有する複合施設については、いただいたアイデアの趣旨等から中心になるとされる機能により集計しています。

(3) アイデアの要旨等

いただいたアイデアの要旨を提出された順に整理しています。

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
1	【保存について】 全体保存とする。 【活用について】 広島市立大学、または広島大学との共同で大学の芸術学部・大学院及び付属美術館とする。 ・ 1 階、2 階は美術館 ・ 3 階は芸術学部・大学院及び修復施設 ・ 屋上は日本庭園と休憩所テラスレストランなど ・ 旧南門からフェニックス並木を抜けるアプローチ、旧北門から落葉樹並木を抜けるアプローチを設ける。 ・ 建物前の広場に世界平和を祈念するモニュメントを配置する。	全部保存	大学施設
2	【保存について】 全部保存とする。 【活用について】 若者が夢を実現する手助けになるようなショップや工房とする。 緑を生かした茶藝館の様な場所もあればいい。	全部保存	店舗
3	【保存について】 — 【活用について】 原爆の惨禍と現在の広島を伝えられるような自然博物館とする。	—	博物館
4	【保存について】 — 【活用について】 若手芸術家を育成する低料金賃貸アトリエ施設や入居者が交流・発表できるような場で構成する複合・交流施設とする。	—	アトリエ等
5	【保存について】 外観はかつての広島大学理学部の姿を残してほしい。 【活用について】 広島の自然を紹介したり、広く自然に親しむための活動の拠点となる自然史博物館とする。 北側の林（植物園）を残して散策できるようにしてほしい。	保存（部分不特定）	博物館

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
6	【保存について】 延床面積約 3,500 m²（前側建物を保存）を採用する。 【活用について】 児童、生徒が身近に自然の摂理を考える大切な設備である自然史博物館とする。 保存しなかった部分は、児童、生徒が遊べる緑の空間にするとよい。	一部保存 （前側建物）	博物館
7	【保存について】 象徴保存とする。 【活用について】 子供たちのためにも、自然史博物館としてはどうか。	象徴保存	博物館
8	【保存について】 全面保存とする。 【活用について】 アイデア 1 市民が訪れ学び楽しむことができる自然史博物館とする。余裕があれば、「科学博物館」や「防災博物館」、「図書館」の併設も選択肢の一つである。 アイデア 2 被爆遺跡とする。 原爆ドーム、理学部一号館、被服廠の三点セットで被爆遺跡ツアーのダークツーリズムへと進化させ、さらには世界遺産への登録も視野に入れる。 アイデア 3 市内近郊大学の教養課程を行う共通教育施設とする。全大学の学生を対象にした共通講座の開講や市民大学講座の開設も考えられる。	全部保存	博物館
			モニュメント
			大学施設
9	【保存について】 — 【活用について】 次世代を担う子供たちや県民のために、自然について総合的に学べる「自然の博物館」とする。	—	博物館
10	【保存について】 — 【活用について】 「真剣に誰もが学べる場所作り」のため、市民が勉強できる自習施設とする。	—	教育学習施設等

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
11	【保存について】 — 【活用について】 市民が自然について学べる自然史博物館とする。	—	博物館
12	【保存について】 全部保存とする。 【活用について】 広島県の環境を学ぶ自然史博物館とする。 周辺の敷地と合わせて、総合的な教育施設として活用すべき。	全部保存	博物館
13	【保存について】 象徴保存でも、一部保存でもよい。 【活用について】 地域住民、企業、行政が一体となって自然環境等の保全に取り組むのため拠点、また、自然環境や生物多様性に関するシンクタンクとなる自然史博物館とする。	一部保存	博物館
		象徴保存	
14	【保存について】 — 【活用について】 自然を伝える博物館とする。	—	博物館
15	【保存について】 周囲四方の外壁・柱のみ残し、その内側に、既存の外壁を支える上から見て口の字型の2階建ての建物を新築する。 ・内部の建物は、旧理学部の原風景が残るように既存外壁高さから突出させないようにする。 ・中央の空間をガラス屋根で覆ったアトリウムとする。 【活用について】 「多様な人々の学習意欲に応える生涯学習・市民活動拠点の形成」、「人々が集まる都心の賑わい拠点、地域の活性化拠点の形成」を目標に、サークル・クラブ活動の場、生涯学習のための教室、地域住民のための集会所、子供のための体験学習室・展示室、保育園と、ステージのある多目的スペースの複合施設（「ナレッジシェアインウォール東千田」とする。	一部保存 （外壁を保存し、解体部分に新築）	教育学習施設等

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
16	【保存について】 全部保存とする。 ・正面棟のみ完全に修復し、背後の左右棟はやや簡略化して実的に改修 ・中央棟は、ガラス張りの現代建築（温室風の展示室）に建て替えてはどうか。 【活用について】 知と技（技術）の博物館としてはどうか。 本館を実測してドローイングし、美術展示物とする。	全部保存 一部保存 （L字型又はコの字型に残し、解体部分に新築）	博物館
17	【保存について】 — 【活用について】 中高年を対象とした理科を教える学び直しの場合とする。	—	教育学習施設等
18	【活用について】 自然（史）博物館とする。 【保存について】 —	—	博物館
19	【保存について】 一度取り壊すと二度と復元できないため、全体保存を希望する。 【活用について】 —	全部保存	—
20	【保存について】 全部保存とする。 【活用について】 広島県内の国公立大学が相互に情報交換等を行う「ひろしま大学会館（仮称）」とする。 ・会館内には、講義室、会議室、ホール、展示室を設ける。 ・県内の大学が改修費用を負担し、会館を管理・運営する。	全部保存	大学施設
21	【保存について】 全部保存とする。 【活用について】 広島市の歴史・文化や自然を後世の市民に伝えるための広島市総合博物館（歴史博物館・自然史博物館）とする。 一部残すなどして中途半端なものを作るのであれば、全て壊して公園（災害時避難場所等）にした方が、無駄な維持費がかからなくてよい。	全部保存	博物館

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
22	【保存について】 — 【活用について】 自然史博物館とする。	—	博物館
23	【保存について】 — 【活用について】 恐竜の骨などを展示する自然史博物館とする。	—	博物館
24	【保存について】 — 【活用について】 小学生の学習コースなどにも活用できる自然史博物館とする。 温室の跡に生えている植物を生かして、周囲は広島植生園などにしてもよいのではないか。	—	博物館
25	【保存について】 耐震を担保するため、解体・除却して新築する。 ただし、同一階数の構造で、前面は同じデザイン、階段教室は再現する。 【活用について】 セミナー等が開催できる、児童・生徒の理科教育を補完する施設とする。 修学旅行生も立ち寄れるように、大型駐車場を整備する。	全部解体 (全部解体し、新築(Eの字型、玄関、外壁等の雰囲気を受け継ぐ))	教育学習施設等
26	【保存について】 — 【活用について】 一般市民が利用できる図書館としてはどうか。 ・カフェ併設の図書館とし、手続きをすれば東千田公園内に本を持ち出して読書できるようにする。 ・一部を被爆当時の広島大学の様子などを伝える資料館とする。	—	図書館

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
27	【保存について】 時計塔を正面に見る姿は保存したい。 ・E字の真ん中の校舎棟を撤去してコの字型とする。 ・撤去した中央のスペースに鉄骨造のフレームで既設のコンクリート造を補強を行い、大型の展示物を展示できる大きな空間を造る。 【活用について】 次代を担う青少年が科学・技術に関心を持ってもらうため、「広島科学・技術未来館」とする。 展示の解説や研修のスタッフに、大学院生、ポストドクター、企業の若い研究者を多用して、青少年の人達と触れ合う場にしたい。	一部保存 (コの字型に残す)	博物館
28	【保存について】 改装してはどうか。 【活用について】 比較的安価な料金で外国人観光客が利用できるゲストハウスとしてはどうか。	保存(部分不特定)	宿泊施設
29	【保存について】 — 【活用について】 広島にゆかりのある画家、文人の作品を展示する。	—	展示施設
30	【保存について】 解体し保存しない。 【活用について】 国立国会図書館・広島分館とする。 屋上はヘリポートとする。 被爆したタイルは頒布する。	全部解体 (全部解体し、新築)	図書館
31	【保存について】 — 【活用について】 戦争体験や原爆文学等の作品を保存する文学保存館とする。	—	平和・原爆・戦争体験に関する施設

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
32	【保存について】 前面部分のうち、必要面積のみ保存する。 【活用について】 周辺の被爆建物を巡る拠点・平和学習の場とする。 ・広島大学の施設や付近の被爆状況などの歴史を展示する。 ・市民の集える部屋、展示室、図書コーナーをつくる。	一部保存 (前側建物)	平和・原爆・戦争体験に関する施設
33	【保存について】 — 【活用について】 世界の多くの若い旅行者と広島市の若者が交流し、平和について語り合える、ユースホテルやゲストハウスとする。 ・被爆者体験談を実施する。 ・広島大学、放送大学等との連携による学術的な側面からの各種公開講座やセミナーを提供する。	—	宿泊施設
34	【保存について】 — 【活用について】 広島豊かな自然を記録する自然史博物館としてはどうか。	—	博物館
35	【保存について】 — 【活用について】 学生や若手作家からアーティストまで様々な分野の方が展示スペースとして利用できるギャラリーとしてはどうか。	—	展示施設

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
36	【保存について】 現在の建物の外観をなるべく建築当時のままに保存する。 【活用について】 科学技術と戦争の博物館とする。 ・ 第一部 科学技術と戦争の歴史 ・ 第二部 原子核分裂の発見から原子爆弾の開発の歴史 ・ 第三部 現代の軍事利用と民生利用（デュアルユース）の例 ・ 正面以外の棟は、それぞれの展示にあて、正面の棟にライブラリーや事務室を設け、中庭にはカフェを設営する。 ・ 1階は展示室、2階はセミナー室、研修室、研究室、3階は被爆資料を含んだ様々な資料の保存室とする。	全部保存	平和・原爆・戦争体験に関する施設
37	【保存について】 — 【活用について】 広島市立自然史博物館とする。 広島市立総合博物館として作り、その後、博物館の性格を決めていくということも考えられる。	—	博物館
38	【保存について】 多額の費用がかからないよう、コンパクトな建物にしてはどうか。 【活用について】 旧広島大学の写真、パネル、保存物品の収容施設としてはどうか。 大学跡地の正門としてはどうか。	一部保存	展示施設
		象徴保存	
39	【保存について】 市民や海外観光客が、簡易な内装工事等にボランティアとして参加できる段階を設け、被爆建物の保存に参加できるようにする。 【活用について】 大学や地元企業が開発した広島産の農水産物をレストラン形式で提供し、モニタリングやプロモーションを行う場とする。 レストランに来た市民が大学、企業の実験に参加できるような場を作る。	保存（部分不特定）	農水産業等の振興に関する施設

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
40	【保存について】 新たに建替える。 迎賓館の意匠は旧理学部 1 号館を踏襲し、外壁の一部に被爆した外壁タイルを活用する。 【活用について】 広島市の迎賓館とする。 ・迎賓館内には、広島の歴史と復興や核廃絶に向けた取り組みに触れられる展示施設を備える。 ・中庭には、広島の美しい自然と四季を表現した日本庭園を配する。 ・展示施設や日本庭園を市民や観光客にも見学してもらえるように、ふだんは一般開放するとよい。	全部解体 (全部解体し、新築(外壁タイルを再利用))	交流・賑わいを生み出す施設
41	【保存について】 改装する。 【活用について】 「広島ナレッジシェアパーク」のナレッジシェアコミュニティ、スポーツクラブ、病院の共同施設となる、足湯のある温浴施設とする。	保存(部分不特定)	温浴施設
42	【保存について】 被爆建物である旧理学部 1 号館を活用する。 被爆建物の意義を時代に伝えていく拠点として活用する。 【活用について】 広島大学との連携による先端技術(農作物・果物の栽培技術、海洋資源の養殖技術等)の研究発表の場や応用技術の地域振興に役立てる場とする。 ・ひろしまの新しい産業技術を紹介する。 ・県下の漁業協同組合、農業協同組合と連携して、各種産物を宣伝・販売する。 ・「野菜・果物の市」「魚介・海産物の市」を軸に、各種イベントをはさみながら広く集客を図る。	保存(部分不特定)	農水産業等の振興に関する施設
43	【保存について】 写真と時計を保存し、建物は全部撤去する。 【活用について】 災害時に備え、オープンスペースとする。	全部解体 (全部解体し、記録保存)	広場・オープンスペース

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
44	【保存について】 — 【活用について】 自然史資料の標本集積管理を行う場となる自然史系博物館とする。	—	博物館
45	【保存について】 — 【活用について】 県内の大学がオール広島で設立する文理融合型の「国際平和科学研究所」とする。 研究所には、被爆学術資料（生体資料等を含む）の保存施設を併設する。	—	大学施設
46	【保存について】 全面保存とする。 少なくとも正面玄関を含む南北棟は全面保存する。 【活用について】 博物館・資料館とする。 原爆被災資料室は必ず設置する。 保存・活用の検討に当たっては、検討委員会を設置し答申を得る。	全部保存	平和・原爆・戦争体験に関する施設
		一部保存 (前側建物を残す)	
47	【保存について】 一部保存とする。 【活用について】 —	一部保存	—
48	【保存について】 現在の広島赤十字・原爆病院のような形で残す。 【活用について】 更地にして、広場とする。 雑草は安佐動物公園の動物の餌に利用する。	象徴保存	広場・オープンスペース

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
49	【保存について】 全面保存とする。 【活用について】 アイデア 1 広島歴史博物館とする。 アイデア 2 広島大学の教養課程の一部を実施する場としてはどうか。 アイデア 3 広島大学の一部の学部（文学部、理学部、教育学部）を移転する。	全部保存	博物館
			大学施設
			大学施設
50	【保存について】 外形はそのままに新しい建物に建て替える。 外壁等の一部は、新しい建物に利用する。 【活用について】 広島から新しい文化を創造する場とする。その上で、人材育成、ビジネスマッチング、子供の育成、学びの機能、芸術・文化・科学・創業・雇用・制作・交流・発表等の機能を入れていくべき。 広島ナレッジシェアパークや建替えた旧理学部 1 号館における人々の活動を東千田公園に展開する。 旧理学部 1 号館の容積が余っていれば、その他の開発等に容積を売却し、利益を整備費用等に充てる。	全部解体 （全部解体し、新築（外壁タイルを再利用））	交流・賑わいを生み出す施設

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
51	【保存について】 当面は玄関を中心とした 3,500 m²（正面部分）を保存し、今後の方針によっては、後部に建物を新築して拡充する。E 字型の後部建物の両サイドについて、町内会・各種生涯セミナー等のため、一部を残し、基本的に縦 3 列棟は撤去する。 被爆正面の象徴的な一部の鉄扉を復元する。 【活用について】 広島若者が集う新しい大学の集積となる、「若者文教の街・芸術の街」とする。 ①若者文教の街 ・広島大学のすべての教養課程の学生が学習する。 ・私立大学共通の教養課程を行う。 ②「芸術・交流の街」 ・建物を生かしたライトアップやプロジェクションマッピングで、広島歴史等を映すイベントを開催する。 ・ビールフェスタや酒祭のような交流イベントを開催する。 ・芸術を目指す市民や学生達の発表や学習交流の場とする。 ・彫像の展示空間として、東千田公園も利用する。 ・地域コミュニティにおけるボランティア活動、イベント、各種生涯学習セミナー等に利用する。	一部保存 （前側建物を残し、解体部分に新築）	大学施設
52	【保存について】 現在の雰囲気（E 型の形や外壁の感じ）を残しながら、建て替える。 【活用について】 観光客が自然に回遊できるような魅力ある施設とする。 ここでしか買えないモノ、ここでなら経験できるコト、広島本社が近いので、例えば、実際に電車を運転できる等、商業的な要素を取り入れる。	全部解体 （全部解体し、新築（E の字型、玄関、外壁等の雰囲気を継承））	交流・賑わいを生み出す施設

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
53	【保存について】 建替えを前提とする。 【活用について】 広島を魅力向上させ、広域集客できる機能として、次のテーマで活用する。 ①人材育成（広島だからの学び。広島発の文化や産業を育てる人の育成など） ②観光（修学旅行生が来る、外国人が来る） ③広島を魅力 PR（世界遺産だけでなく他の魅力） ④広島を歴史 PR（被爆以前の時代も含め、広島を PR する） ⑤産業育成（ビジネスマッチングやリアルクラウドファンディングなど） 広電を生かし、実際にレール上を運転できる等、広電博物館も考えられる。	全部解体 （全部解体し、新築）	交流・賑わいを生み出す施設
54	【保存について】 建替える。 【活用について】 観光客や修学旅行生も来るような、学び、遊び、広島を知ることができる施設とする。	全部解体 （全部解体し、新築）	交流・賑わいを生み出す施設
55	【保存について】 全体保存とする。 【活用について】 子供たちが気軽に科学に触れることができる、様々な研究体験の場や原爆関連の資料をそろえた平和学習の場とする。 ・知の拠点に相応しい内容の書籍をそろえたブックカフェの併設 ・個展や写真展などに利用できるレンタルスペース 資金確保のため、企業の誘致・協賛を得てはどうか。市民からの募金や、広島大学卒業生にも支援金を呼びかけてはどうか。	全部保存	平和・原爆・戦争体験に関する施設

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
56	【保存について】 — 【活用について】 原爆に関する総合資料館（博物館のような機能）とし、原爆に関する学習や研究の拠点とする。 また、文化センター機能も持たせ、生涯学習講座を開講して、社会人の学びの場とするなど、文化活動の拠点とする。 ・平和記念資料館との共通チケットによるシャトルバス又は片道電車券を用意する。 ・被爆建物のいくつかを巡るプランを複数用意する（徒歩コース、車コース、循環バスコース等）。また、案内看板も設置する。	—	平和・原爆・戦争体験に関する施設
57	【保存について】 一部保存（外壁）し、再建する。 【活用について】 老人福祉施設と児童保育所・幼稚園の複合施設とする。	一部保存 （外壁を保存し、解体部分に新築）	福祉施設等
58	【保存について】 外壁の一部を再利用し建替えを前提とする。 【活用について】 アイデア 1 外壁の一部をモニュメントとして再利用する。 アイデア 2 カフェとして人の憩いの場とする。 アイデア 3 民間事業者に助成金活用を前提としたアイデアを募る。	象徴保存	モニュメント
		全部解体 （全部解体し、新築（外壁を一部再利用））	店舗 民間に活用を委ねる
59	【保存について】 修復・保存する。 【活用について】 市民が気軽に見学できる、広島自然博物館とする。	保存（部分不特定）	博物館
60	【保存について】 — 【活用について】 セミナーの開催や美術作品展示ができる貸しスペースとしてはどうか。	—	教育学習施設等

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
61	【保存について】 解体して新しい建物を建替える。 外観は、現在の建物の面影が残るものがよい（入口のデザインを残す、レンガ風にする等）。 【活用について】 広島県内特産の体験型学習館及び県内日帰り観光バスの発着場とする。 ①体験型学習館のイメージ（常時10ブース程度。季節入替え・適宜入替え） ・世羅の果物を使った生絞りジュース作り体験 ・利き酒体験 ・お好み焼き作り体験 ・もみじまんじゅう作り体験 ・ふりかけ作り体験 ・かっぱえびせん作り体験 ・カキ打ち体験 ・広島菜漬作り体験 ・広島レモンケーキ作り体験 ・音戸ちりめんを使ったおかず作り体験 ・熊野筆によるメイク体験 ・車整備体験・試乗体験 等 ②日帰りバスツアーのイメージ ・東広島市酒蔵探訪ツアー ・熊野筆工房ツアー ・世羅果物狩りツアー ・江田島潮干狩り・漁師体験ツアー ・農業体験（田植え・稲刈り）ツアー ・マツダ、カルビー、オタフクソースの工場見学ツアー等	全部解体 （全部解体し、新築（Eの字型、玄関、外壁等の雰囲気を受け継ぐ））	体験施設等

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
62	【保存について】 建替えを前提とする。ただし、旧理学部一号館の趣を残した建物とする。 【活用について】 アイデア 1 理学部での研究がどのように平和に生かせるかを展示する科学館、アンテナショップ、インキュベーションオフィス、アートスペース等、人々が集まり、何かが生まれ発信していく場とする。 アイデア 2 地域住民の方が新しいライフスタイルを楽しめるようなカフェ、多目的ホール、又は地域情報を発信するサテライトスタジオとする。	全部解体 (全部解体し、新築(Eの字型、玄関、外壁等の雰囲気を継承))	交流・賑わいを生み出す施設
			コミュニティ活動に関する施設
63	【保存について】 — 【活用について】 民間事業者に活用を委ねてはどうか。	—	民間に活用を委ねる

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
64	【保存について】 建替えを前提とする。 外周部の既存のファサード（建物正面部分）を活かす、又は、現状のデザインを踏襲した新規建物とする。 【活用について】 新しい人材育成、都市活動及び観光拠点づくりによる、新たな広島創造拠点とする。 ①新しい人材育成 ・アーティストの自己表現の場や交流の場であるアーティスト・イン・レジデンス ・起業を目指す人たちの支援施設であり、企業・アーティスト・教育関係者などのコラボレーションを生み出す場であるインキュベーション&コラボオフィス ・広島の個性豊かな「食」をさらに発展させ、多くの人の味わってもらう「R&D」広島食レストラン ②都市活動 ・地域の情報を発信するサテライトスタジオ ・多目的ホール・ミニシアター ・広島市の歴史を学べるパネルの展示や多様な書籍を配し、学びの場としても活用可能なミュージアム&ブックカフェ ③観光拠点づくり ・平和な未来を創ることをテーマに科学を平和利用する世界作りを体験できる「平和未来科学館（仮称）」 ・広島の名産品・郷土品などの販売等を行うアンテナショップ ・「将来の広島像」について、アイデアを自由に書くことができるスペース「未来創造ウォール（仮称）」 資金確保のため、市民をはじめ、企業・団体等に幅広く募金を求める。 また、コンテンツ更新に必要となる費用を確保するため、施設のテナントへの賃貸、スポンサーの獲得、参加料を徴収するイベントの開催等を実施する。	全部解体 （全部解体し、新築（Eの字型、玄関、外壁等の雰囲気を受け継ぐ））	交流・賑わいを生み出す施設
		一部保存 （外壁を保存し、解体部分に新築）	

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
65	【保存について】 全部保存とする。 【活用について】 有史以前からの人類の歩み、理科学技術の歩みを紹介する博物館とし、中高生向けの大人も楽しめる内容の科学館（国際交流未来科学館）とする。 ・ こども文化科学館と広島大学本部跡地に建設する国際交流未来科学館を、専用（デザイン）の路面電車を走らせてつなぐ。 ・ こども文化科学館、国際交流未来科学館、電車料金をセット料金にする等の工夫により、千田町への人の流れを作る。	全部保存	博物館
66	【保存について】 即刻解体の結論を出してほしい。どうしても保存が必要になったとしても、正面玄関の時計回り一部をモニュメントとして残すだけで充分である。 【活用について】 —	象徴保存 全部解体	—
67	【保存について】 コの字型またはL字型で保存する。 【活用について】 自然史博物館とする。 ・ 各教室は展示スペースとして活用する。 ・ 現在の建物の後ろのスペースに、研究・実験・試料アーカイブ施設をつくる。 ・ 放射線影響等の展示も行う。	一部保存 （L字型又はコの字型に残し、解体部分に新築）	博物館
68	【保存について】 正面の外壁だけを残して、内部は安全で使いやすい建物にする。 今よりも大きな建物にして、正面の景観を損なうようなことはしないでほしい。 【活用について】 子育て世帯が、隣の東千田公園と一体的に楽しめる施設とする。	一部保存 （外壁を保存し、解体部分に新築）	コミュニティ活動に関する施設

番号	要 旨	保存の分類	活用の分類
69	【保存について】 建物正面と、被爆した向かって左の側壁を保存する。 その改修を、長期計画の中の一期工事と位置付け、将来への発展の余地を残す。 【活用について】 アイデア1 アストラムラインを延伸する際の、駅の出口とする。 アイデア2 休憩、荷物預かり、空港への案内等のサービスを提供するバック・パッカーの聖地とする。 利用に当たっては、パスポートの提示・記録を条件とする。 アイデア3 比較的安価に領事館スペースとして貸す。 賃貸に当たっては、民主主義国家、非核保有国、非紛争当事国であることを条件とする。	一部保存 (L字型に残す)	駅舎
			観光者用利便施設
			領事館
70	【保存について】 建替えを前提とする。ビジュアル的な保存についても最先端の技術を活用した再現は可能。 【活用について】 広島の実現に向けて、発展的に価値や収益を生み出す集客施設とする。 ・既存建物のデザインの再現・昇華や、プロジェクションマッピング等で歴史を次世代に伝承する。 ・ソフト面（宿泊施設、博物館、体験型学習、遊戯施設等）で歴史を次世代に伝承する。	全部解体 (全部解体し、記録保存)	交流・賑わいを生み出す施設
71	【保存について】 — 【活用について】 みんなが元気になる空間とする。 ・認知症や病気の予防的なことをする場所をつくる。 ・木を使って、人が気持ちよく呼吸できる空間をつくる。 ・大型遊具や噴水のある公園として、いろいろな年齢層が集まる場所とする。 ・英語ボランティアを育てる教室を開く。	—	コミュニティ活動に関する施設

参考：アイデア募集ホームページ掲載内容

広島大学旧理学部 1 号館の保存・活用にアイデアをお寄せください

旧理学部 1 号館は、かつての学都広島としての歴史を象徴する建物であり、被爆建物です。

市では、平成 25 年 4 月に旧理学部 1 号館とその敷地を無償取得し、劣化状況調査を実施しました。このたび、市民の皆さんから、アイデアをいただき、知の拠点全体の機能が高まるような保存・活用の方針をまとめたいと考えています。

旧理学部 1 号館の歩み

旧理学部 1 号館は、昭和 6 年に広島文理科大学の校舎として竣工しました。竣工当時は、鉄筋コンクリート造 3 階建て、「コの字型」の平面でしたが、昭和 8 年に中央部分が増築されて、「ヨの字型」の平面となりました。

爆心地から 1.42km で被爆。外郭を残して全焼しましたが、翌年 9 月から講義を本格的に再開しました。昭和 24 年 5 月には、学制改革で広島大学に包括され、理学部校舎として使用されることになりました。

被爆時の血痕が残る内装タイル壁については、現在、東広島キャンパス内に保存・展示されています。平成 3 年に理学部が東広島キャンパスに移転してからは、閉鎖されています。

施設等概要 鉄筋コンクリート造、地上 3 階、建築面積：約 2,800 m²、延床面積：約 8,500 m²、敷地面積：約 6,300 m²、設計：文部省



現在の広島大学旧理学部 1 号館



戦前の広島文理科大学
(広島市公文書館所蔵 (提供))

旧理学部 1 号館は、「知の拠点の核となるゾーン（知の継承エリア）」です。

旧理学部 1 号館のエリアを含む広島大学本部跡地は、平成 18 年に広島地域大学長有志懇談会から提案のあった「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト（仮称）」に基づいて活用を進めることとしています。この提案において旧理学部 1 号館のエリアは、広島大学東千田キャンパスとともに「知の拠点の核となるゾーン」に位置づけられ、「被爆建物である旧理学部 1 号館を活用しつつ、新たな時代に向けて『知の継承』を図る」とされています。

平成 25 年度に調査を行い、建物の劣化などの状況を公表しました。

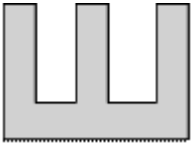
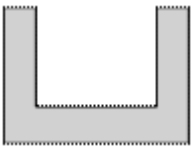
建物の経年劣化については、外壁タイルの剥落や雨の吹き込みなどによる内装材の劣化が進んでいました。

構造部材のコンクリートは、中性化が鉄筋まで達している箇所がありました。

耐震診断では、「地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。」という区分に該当する結果となりました。

また、建物の内部は、大学の研究室の特徴である小規模な居室で構成されています。

これらの劣化等の状況を踏まえ、耐震対策や内外装等の工事を行った場合の概算改修費を試算したところ、以下の表のとおり、約 20 億円から約 40 億円を必要とし、新築するよりも費用がかかることが分かりました。

	全体保存	一部保存			象徴保存
保存・活用の範囲					外壁の一部など様々なケースが考えられるため、内容を検討し、概算事業費を算出することになります。
延床面積	約 8,500 m ²	約 6,900 m ²	約 5,200 m ²	約 3,500 m ²	
概算改修費	40 億 6 千万円 (47.8 万円/m ²)	33 億 4 千万円 (48.4 万円/m ²)	26 億円 (50.0 万円/m ²)	18 億 5 千万円 (52.9 万円/m ²)	

保存・活用の方針について来年度にとりまとめる予定です。

市では、来年度に、有識者や関係団体等から意見聴取する場を設けることを考えており、いただいたアイデアや意見を参考にしながら、保存・活用の方針をとりまとめる予定です。

「ひろしまの『知の拠点』再生プロジェクト（仮称）」に位置づけられていること、被爆建物であること、劣化のため改修が必要なことなどを踏まえた保存・活用について、市民の皆さんからのアイデアをお待ちしています。

提案方法

1 募集期間

平成 27 年 12 月 15 日（火）から平成 28 年 1 月 15 日（金）まで

2 応募方法

郵送、ファックス、窓口への持参、ホームページの応募フォームのいずれかの方法

(1) 郵送、ファックスの場合

アイデア、お住まいの区、年齢階層（例：20 歳未満、20 歳代）性別、職業を記入のうえ、「3 提出先」へ送付（様式自由）

郵送の場合は、平成 28 年 1 月 15 日（金）（必着）

(2) 窓口への持参の場合

アイデア、お住まいの区、年齢階層（例：20 歳未満、20 歳代）性別、職業を記入のうえ、平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分までの間（土日祝日及び年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）を除く）に、「3 提出先」へ持参（様式自由）

(3) 広島市ホームページの応募フォームの場合

応募フォームから応募してください。

応募フォームにより難しい場合は、「（1）郵送、ファックス」又は「（2）窓口への持参」でお願いします。

3 提出先

広島市都市整備局都市機能調整部都市機能調整担当（市役所本庁舎 1 2 階）

住所：〒730-8586 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

電話：082-504-2698 FAX：082-504-2309

4 その他

お寄せいただいたアイデアの概要は、ホームページ上で公表するとともに、今後の保存・活用の検討に当たり参考とさせていただきます。なお、アイデアに対する個別の回答はいたしませんので、あらかじめ御了承ください。

募集に当たり、知り得た個人情報は、旧理学部 1 号館の保存・活用の検討以外の目的では一切使用しません。また、広島市個人情報保護条例に基づき、収集した情報は厳重に管理します。